

研修NO.

19-13

品質管理講座

不良品ゼロ化を実現させる品質管理の進め方

研修のねらい

取引先の求める品質レベルの高度化に対応するためには、出荷検査だけでなく全社的な品質管理の体制構築が必要となります。

本研修では、顧客からの信頼を高め、品質不良による損失を改善するために品質を製造工程で作り込むQC（クオリティコントロール）の考え方とその管理の進め方を学ぶとともに、演習を通じて自社の課題を検討します。

このような方におすすめ

- ★生産現場で品質改善を実践するための品質管理手法を使えるようになりたい方
- ★不良品を製造しない現場を確立する品質管理について学びたい方

対象者

管理者・新任管理者・管理者候補等

実施期間

全3日間(21時間)

2019年6月24日(月)～26日(水)

定員

30名

受講料

31,000円(税込)

※宿泊費は含まれません。

※お申込みが多数の場合、定員を変更させていただく場合がございます。

受講生の声

- ◆演習を交えた講義で、大変参考になりました。
- ◆お客様が何を求めているのか良く理解できました。

研修カリキュラム

日程	研修テーマ	内容
6/24(月) 9:30～17:30	1. 製造部門の役割に基づく品質管理の考え方	●企業経営とお金の流れについて理解を深め、コストが経営にどのように影響するか理解します。
	2. 標準化の考え方と進め方	●標準化に取り組む際の盛り込むべき要素や留意点について、作業標準の事例を交えて学びます。
6/25(火) 9:00～17:30	3. 標準化とQC7つ道具による改善(演習)	●QC7つ道具(特性要因図、パレート図、ヒストグラム、管理図、散布図、グラフ、チェックシート)の作成・使用方法を、演習を交えて学びます。
6/26(水) 9:00～16:30	4. QC7つ道具を活用した自社課題の検討(演習)	●QCストーリーに沿って、複数のQC7つ道具を組み合わせた問題解決の方法を学び、自社における品質改善活動に関する取り組みについて検討します。

※カリキュラムは変更となる場合がございます。

講師紹介

▶佐藤 直樹 (さとう なおき)

一般社団法人中部産業連盟東京事業部 経営革新コンサルティング部 次長 上席主任コンサルタント
2002年中産連入職以来、多数の企業でコンサルティング、教育研修に従事。JRCA登録主任審査員(ISO9001:品質マネジメントシステム)。全日本能率連盟認定マネジメント・コンサルタント。専門分野はVM(見える経営・見える管理)活動の推進、品質管理を含むFMS(フレキシブル生産システム)の構築および管理・改善、管理間接業務改革・革新など。